

小林菜美 ソプラノリサイタル

～イタリアのロマンと哀愁～

Nami Kobayashi Soprano Recital -Italian Vokal Music-

伸びのある天性の美声、透明感溢れるリリコレッジェロ、
ダヌンチオの詩によるトスティ歌曲のロマンとニーノ・ロータの哀愁を歌う

小林 菜美 ソプラノ
Nami KOBAYASHI, Soprano
ヴィート・クレメンテ ピアノ
Vito CLEMENTE, Piano
辻本 憲一 トランペット
Kenichi TSUJIMOTO, Trumpet

PROGRAM

トスティ:ダヌンツィオの詩によるロマンツェ
Tosti:Romanze, Poem by Danunzio

- ・幻覚 Visione!
- ・白い夜 Notte bianca
- ・そうだといいけど Vorrei
- ・子守唄 Ninna nanna (Per Giorgio)
- ・かわいい口元 'A vucchella
- ・死のために Per morire
- ・アマランタの4つの歌 Quattro canzoni d'Amaranta
そっとしておいて!一息つかせて "Lasciami! Lascia di'to respiri"
暁は光から "L'alba separa dalla luce l'ombra"
空しい祈り "In van preghi"
賢者の言葉よ 何を語っているのか? "Che dici, o parola del saggio?"

Nino Rotaの歌曲とアリア

- ・馬槽ーまぶねー Il Presepio
- ・なぜランプは消されたの? Perché si spense la lampada?
- ・汝、即ち火よ、輝け Illumina tu o fuoco
- ・予感 Il presagio
- ・ペトラルカによるバラータとソネット Ballata e Sonetto del Petrarca
- ・アヴェ・マリア Ave Maria
- ・追憶の頌歌 Il canto in memoria di Alfredo Casella
- ・映画音楽より Songs from movies
愛の冷やかさ Che scherzi fare l'amore
1909年 1909

オペラ「フィレンツェの麦わら帽子」より Opera "Il cappello di paglia di Firenze"
アリア「パパ、私を置いていかないで」 Aria: Papa Non mi lasciar'
アリア「パパ、愛してるの、放っておけない」 Papa, gli voglio bene, lasciar non potrò

2012.10.1.(月)

19:00 開演 (18:30 開場)

王子ホール

(銀座4丁目)

全席指定 5,000円

※就学前のお子様のご入場、ご同伴はご遠慮ください

■ チケット取り扱い

王子ホールチケットセンター Tel. 03-3567-9990 / チケットぴあ Tel. 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/classic> [Pコード:173-425]
東京文化会館チケットサービス Tel. 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp>

■ 主催:MDオフィス 090-4962-4437 vzz05337@nifty.com

■ 後援:公益財団法人 東京二期会 / イタリア文化会館

■ マネジメント・お問い合わせ:東京コンサーツ Tel. 03-3226-9755 <http://www.tokyo-concerts.co.jp> (東京コンサーツHPで予約、セブンイレブンで支払いと受け取り)





小林 菜美 ソプラノ

Nami KOBAYASHI, Soprano

国立音楽大学卒業。同大学院オペラ科終了。二期会オペラスタジオを優秀賞受賞し修了。1995年よりイタリアへ留学。天性の才能に加え、高い技術に裏打ちされた、伸びのある美声には定評があり、透明感を兼ね備えたりコレッジェロの次代を担う逸材として、高い評価を各方面から得ている。第29回ベリーニ国際コンクール入賞。第27回日本イタリア声楽コンクール金賞受賞。第36回日伊コンクール第3位。第1回ノーヴィ国際コンクール第1位優勝。

ローマ、ルガーノをはじめイタリア各地、日本、アジアでコンサートを行い、その活動は国内にとどまらない。2001年12月バンコックにてパンアジアオーケストラにベートーヴェン「交響曲第9番」ソリストとして出演。宗教曲の分野から「フィガロの結婚」スザンナ、「ラ・ボエーム」ムゼッタ、「ポッペアの戴冠」ポッペア、「カルメン」ミカエラなどに出演。国立音楽大学大学院創立30周年記念演奏会にて、ソロリサイタルを開催。新国立劇場「サロメ」「リゴレット」二期会「カルメン」等に出演。愛知芸術劇場主催「椿姫」ヴィオレッタ、新国立劇場「友人フリッツ」スーゼルで主役を務め、情感溢れる的確な演唱と新聞各紙にて絶賛された。

平成17年度第60回文化庁芸術祭参加リサイタルとして「フランス声楽作品の系譜1〜レイ・フィリップ時代の歌」、フランス声楽作品の系譜「ヴィアルド・ポリヌ・ガルシア12の歌曲全集」を取り上げ各方面において反響を呼び、その後もテーマ性を持ったリサイタルを続けている。

最近では、二期会日生劇場公演、オフエンバック「天国と地獄」でダイアナ役を好演。07年CD『ああ、そはかの人か』をリリース。2012年2月紀尾井ホールにて、東京室内歌劇場『偽りの女庭師』（指揮ヴィート・クレメンテ）で主役を務め、新聞にて絶賛された。

昨年に続き、今年もイタリアでの音楽祭に出演。現在、国立音楽大学非常勤講師、二期会会員。

photo by Akira Maeda



ヴィート・クレメンテ 指揮・ピアノ

Vito CLEMENTE, Conductor

パリ国立音楽院指揮科を最優秀で修了後、歌曲科、ピアノ科、吹奏楽編曲科、合唱指揮科、合唱音楽科、作曲科も修了。さらにギジアーナ音楽院で研鑽を積み、パリにて指揮教育科を修了。ロベルト・ドゥアルテ、リノ・マローネ、グスタフ・クーン、チョン・ミュンファン等に師事。2002年フランコ・カプアーナ国際指揮者コンクールで優勝。イタリア各地でオーケストラとオペラの指揮・音楽監督として精力的に活動している。

「トンマゾ・トラエッタ室内管弦楽団」常任指揮者、「トラエッタ・オペラ・フェスティバル」芸術監督を皮切りに、最近ではリニューアルオープンしたパリのベトゥルツェリ劇場において、新シーズン2009/2010で「セヴィリアの理髪師」を指揮。メッシーナ劇場の2007/2008「セヴィリアの理髪師」、2010/2011「カヴァレリア・ルスティカーナ」及び「外套」シーズン開幕指揮。とりわけ2003年、2005年、2006年には「スポレート実験歌劇場」における、「椿姫」<オベルト・サン・ボニファーチョ伯爵>「セヴィリアの理髪師」の指揮は特筆すべきであり、スポレート実験歌劇場の日本ツアーへ2度参加している。パリをはじめとしてヨーロッパ各地、ロシア、ブラジル、ニューヨークなど世界各地を駆け巡っている。

2004年より、日本の東京の新国立歌劇場、東京文化会館、名古屋愛知県立劇場、大阪フェスティバルホール、福岡シンフォニーホール、神戸国際会館、札幌の北海道厚生年金会館（現在のさっぽろ芸術文化の館）等、主要な劇場にて、ヴェルディ「椿姫」、サン・ボニファーチョのオベルト伯爵、バイゼット「ニーナ、あるいは恋に狂った娘」、ロッシーニ「セヴィリアの理髪師」、ヘンデル「アルチーナ」、チマローザ「秘密の結婚」、モーツァルト「偽りの女庭師」を指揮する。100曲を数える現代曲の初演があり、レコーディング、テレビ、ラジオでも積極的に活動し、多くの音楽家と共演している。



辻本 憲一 トランペット

Kenichi TSUJIMOTO, Trumpet

1994年東京芸術大学音楽学部器楽科入学。1996年第65回日本音楽コンクール第二位特別賞受賞、第13回日本管打楽器コンクール第二位受賞。1997年大学在学中に東京フィルハーモニー交響楽団入団。1998年東京芸術大学音楽学部器楽科卒業後、2000年～2001年アフィニス文化財団の奨学金を受けドイツ ハンブルグに留学、エリーゼマイヤーコンクール第一位受賞する。2004年東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者就任。これまでにトランペットを野間裕史、北村源三、杉木峯夫、福田善亮、マティアス ヘフスに師事。侍ブラス、ブラスヘキサゴン、東京トランペットカルテット、T-Bros.メンバー。